

林業安全ゲーム（チェーンソー伐木作業編）を実施しました

1 はじめに

普及班では、令和8年3月17日に開催された岩手県林業研究グループ連絡協議会総会にあわせて、森林ヒューマン・ファクター研究所が販売する「林業安全ゲーム」を出席者間で実施したので、その内容を紹介します。

2 林業安全ゲームの内容

林業安全ゲームは、サイコロで進める双六に、労働安全に関する知識や行動のクイズを組み合わせた教育型ゲームです。

ゲームの流れは次のとおりです。

- (1) プレイヤーは持ち駒を選び、親から20枚のコインを受け取りスタートします。
- (2) サイコロを振り、止まったマスに応じて「良い行動」「不注意」「知識」「質問」の、いずれかのカードを引きます。
- (3) 「良い行動」「不注意」のカードは、読み上げて全員と共有し、「知識」カードはコイン2枚で購入することもできます。
- (4) 「質問」カードは正解すると他プレイヤー全員からコインを1枚獲得し、答えられなければ他プレイヤーに回答権が移ります。

(5) 質問・知識カードは同じ番号で対応しており、質問は知識カードで回答できます。

(6) ゴールした順位に応じてコインを受け取り、全員がゴールした後は、購入した知識カードもコインと交換して精算、合計コイン数で最終順位を決定します。

(7) 質問・知識カードは、初心者向けと熟練者向けがあり、参加者のレベルに応じて労働安全を学習する設計となっています。

3 林業安全ゲームの感想

参加者からは、「非常に楽しく参加できた」、「林研グループのメンバーにも体験させたい」といった感想が寄せられました。

今回、伐木作業の熟練者と初心者がともにゲームを進める中で会話が活発になり、参加者は楽しみながら安全作業に関する知識を再確認している様子が見受けられました。

4 さいごに

普及班では林業安全ゲームを3台保有しており、常時貸し出しが可能です。現地での普及活動の機会に、ぜひご活用ください。



写真1 林業安全ゲーム（チェーンソー伐木作業編）



写真2 林業安全ゲームの様子